

# CCNA試験メジャーアップデート (v1.1 ⇒ v2.0)

200-301 CCNA試験は、**2027年2月3日より**CCNA v2.0 に**メジャーアップデート**されます。

現行のCCNA v1.1は **2027年2月2日まで**受験可能です。

詳細はCisco社の公式ページをご参照ください。

<https://learningnetwork.cisco.com/s/ccna-v2-exam-topics>

## 試験概要

CCNA v2.0は120分間の試験です。試験ではIPルーティング、スイッチングおよびネットワークアクセス、ネットワークサービスとセキュリティ、ネットワークインフラおよび接続性、AI、ならびにネットワーク運用と管理に関する専門知識を評価します。本試験の一環として、ネットワーク運用やトラブルシューティングを支援するために、エージェント型AIやデジタルネットワークアシスタントからの出力や推奨事項を評価することが求められる場合があります。出題内容は予告なく変更される場合があります。

## 試験範囲

項目	1.0 ネットワーク基盤と接続性 (比重: 25%)
1.1	銅線・光ファイバーのインターフェイス/ケーブル障害の診断 (コリジョン、エラー、デュプレックス不一致、速度、距離、インターフェイス、信号レベル、ピン配列、ケーブル種別)
1.2	ハイパーバイザー・仮想マシン・コンテナの役割と機能の説明
1.3	IPv4アドレスの設定・割り当て・サブネットリングのトラブルシュート (パブリックおよびプライベート)
1.4	IPv6アドレスの設定・割り当て・プレフィックスサイズのトラブルシュート (ユニキャストおよび修正EUI-64)
1.5	無線の原則の説明
1.5.a	周波数帯とチャネル選択
1.5.b	RF特性
1.5.c	セキュリティプロトコル
1.5.d	電波干渉の原因
1.6	有線・無線クライアント接続のトラブルシュート (IP設定、ネットワーク到達性、無線セキュリティパラメータ: Windows / MacOS / Linux)
1.7	IOSデバイス上のDHCPv4クライアント・サーバー・リレーのトラブルシュート
項目	2.0 スwitchングとネットワークアクセス (比重: 25%)
2.1	ネットワーク基盤の接続設定 (スイッチ間・スイッチ-ルータ間)
2.1.a	レイヤー2/3 物理インターフェイス
2.1.b	レイヤー2 802.1Q トランクインターフェイス
2.1.c	レイヤー2/3 LACP ポートチャネル / EtherChannel
2.1.d	スイッチ仮想インターフェイス (SVI)
2.2	エッジホスト接続のレイヤー2スイッチポート属性の設定 (VLAN、PoE、ポートチャネル、LACP)
2.2.a	デスクトップ・プリンター・IoTアプライアンス
2.2.b	無線アクセスポイント (スタンドアロン / コントローラーベース)
2.2.c	VoIP電話
2.2.d	仮想化ホスト
2.2.e	ネットワークアプライアンス
2.3	CDPおよびLLDPを使用したネットワーク情報管理の正確性を検証
2.4	showコマンド (show logs含む) ・ping・拡張ping・traceroute・パケットキャプチャ出力を使用したレイヤー2/3接続とデバイス動作のトラブルシュート
2.5	Rapid Per VLAN スパニングツリープロトコル (Rapid PVST+) の設定
2.5.a	ルートポート・ルートブリッジ (プライマリ/セカンダリ) ・各ポート名称
2.5.b	ポートステートとロール
2.5.c	PortFast
2.5.d	Root Guard・Loop Guard・BPDU Guard
項目	3.0 IPルーティング (比重: 20%)
3.1	ルーティングテーブルの解釈によるネクストホップ特定 (ルーティングプロトコル、プレフィックス/マスク、アドミニストレーティブディスタンス、メトリック、デフォルトルート)
3.2	IPv4およびIPv6スタティックルーティングのトラブルシュート
3.2.a	デフォルトルート
3.2.b	ネットワークルート
3.2.c	ホストルート
3.2.d	フローティングスタティック
3.3	シングルエリアOSPFv2 (IPv4) / OSPFv3 (IPv6) の設定
3.3.a	ネイバーアジャセンシー (認証設定は除く)
3.3.b	ポイントツーポイント
3.3.c	ブロードキャスト (DR/BDR選出)
3.3.d	ルータID
3.4	ファーストホップ冗長化プロトコル (HSRP / VRRP) の動作ステータスの解釈

# CCNA試験メジャーアップデート (v1.1 ⇒ v2.0)

項目	4.0 ネットワークサービスとセキュリティ (比重: 20%)
4.1	管理用のローカルユーザー名設定とAAAクライアント設定 (TACACS+ / RADIUS)
4.2	SFTP / SCPによるセキュアファイル転送を使用したデバイス設定ファイルとソフトウェアファイルの管理
4.3	IOS XEルータのNAT / PAT設定
4.4	ホスト・Webアプリ・メールサーバーへの名前解決をサポートするDNSレコードの診断 (A、AAAA、CNAME、MX、NS、PTR)
4.5	IPsecリモートアクセスおよびサイト間VPNの説明 (プロトコルとトランスポートモード)
4.6	IPv4アクセスコントロールリストの設定 (標準ACL、拡張ACL、番号付きACL、名前付きACL)
4.7	レイヤー2セキュリティ機能の設定
4.7.a	DHCPスヌーピング
4.7.b	ダイナミックARPインスペクション
4.7.c	ストームコントロール
4.7.d	RAガード
4.7.e	ポートセキュリティ
項目	5.0 AI・ネットワーク運用と管理 (比率: 10%)
5.1	ネットワーク運用におけるエージェント型AIの役割の説明
5.2	ネットワーク運用をサポートするための生成AIシステムへのプロンプト選択 (データ分類、出力形式、ペルソナ、指示などのコンポーネントを考慮)
5.3	ネットワーク管理アプローチの説明 (デバイスベース、クラウドベース、コントローラーベース、自動化ベース、IaC)
5.4	ネットワーク運用におけるSNMPの機能の説明
5.5	Ansibleなどの構成管理メカニズムを使用したコマンドの実行
5.6	syslogメッセージの内容・重大度レベル・ファシリティの解釈